

自然共生社会の構築

国内外で進む化学物質の規制強化や法整備に対応していくとともに、製品開発と生産工程の両面で環境負荷物質の低減を進めています。また、生物多様性保全の活動や地域への貢献活動を通じて、自然と共生する社会の実現に向けた取り組みを展開しています。

環境負荷物質の低減

生産活動における環境負荷物質の低減

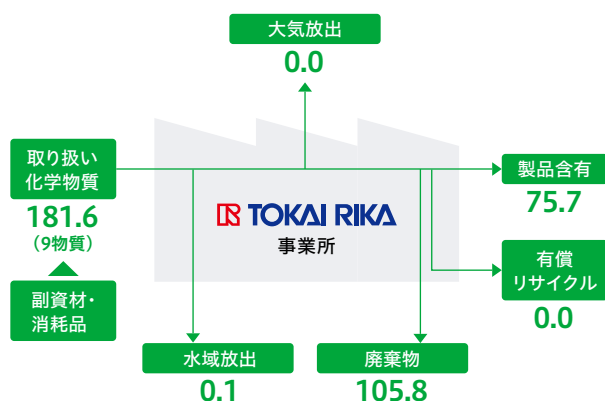
人や環境へのリスクを低減していくため、材料の切替えや塗装工程の改善など、環境負荷の高いVOCやPRTR法対象物質の低減に取り組んでいます。

ステアリングスイッチの塗装工程では、VOC含有量が少ない塗料へ変更し、さらに、塗料と溶剤の配合比を見直すことで、VOC排出量を最小化しました。



ステアリングスイッチ

PRTR法対象物質排出・移動量 (t)



製品含有化学物質管理の充実

化学物質規制の各国動向を把握し、規制物質を含まない製品への切替えを行っています。

パワーウィンドウスイッチに使用しているフッ素グリスは、REACH規制の対象物質であるパーフルオロアルキルカルボン酸を発生させる可能性があるため、代替品へ切替えを実施しました。



パワーウィンドウスイッチ

環境保全・生物多様性保全の推進

生物多様性の取り組み指針

指針	実施事項
① 社会と連携し自然を育む	・地域やオールドヨタとの協働による多様性を育む社会づくり ・啓発による従業員の意識高揚と行動の促進
② 自然にやさしい技術の導入	・軽量化・リサイクル配慮設計、化学物質管理
③ 自然と共生する事業活動の推進	・水域保全、CO ₂ 低減、資源循環、環境負荷物質低減
④ 積極的な情報の開示	・取り組み内容の発信

地域貢献につながる生物多様性の取り組み

東海理化グループでは、生物多様性保全の取り組みを地域や行政と連携して行っています。2021年度は、特定外来生物であるオオキンケイギクの駆除や施設内における植樹を実施しました。



オオキンケイギク駆除



TRP(フィリピン)における植樹

福島県猪苗代町で活動している『田圃クエスト』に参画し、耕作放棄された棚田を取り戻すため活動しています。田植えイベント、生物観測会、地元食材・地域創生イベントなど、地域との交流イベントも開催しています。



田んぼの環境整備



夜の生物観測会